

令和3年9月吉日

尾張旭市サッカー協会加盟チームのみなさんへ

尾張旭市サッカー協会より

審判へのクレームをなくして、もっとサッカーを楽しもう！

日頃から、本協会へのご協力をありがとうございます。見出しのことについて、8月4日に行われた第2回理事会で話し合いました。そこでの内容を踏まえてみなさんにもお伝えします。

みなさんがサッカーをするのは、「サッカーが楽しい」からだと思います。ふだん嫌なことがあっても、仲の良い仲間と一緒にサッカーをして楽しんで帰る。試合を振り返って、あーでもない、こーでもない仲間と話をしながら楽しくお酒を飲む（最近ではコロナで難しいですが）。そういうことがあるからこそ、また、ふだんのお仕事もがんばることができるのではないのでしょうか。

しかし最近、審判へのクレームが多く、せっかくの楽しいサッカーが、楽しくない、いやな思いをするものになってしまうことがあります。クレームは審判を焦らせ、余計に試合を荒れさせ、みなさんにとってサッカーを楽しめないものにしてしまいます。そもそもサッカーの試合には審判が必要で、その審判は、みなさんも知っての通り、とっさの判断が求められ、とても難しいものです。そんな審判をやってくれる方がいるだけでも感謝（リスペクト）してもよいのではないのでしょうか。

もちろん、審判の技量を高めることも大切です。しかし、そのためには豊富な知識と経験が必要とされ、忙しい日々を送っているみなさんにはかなりハードルが高いのではないのでしょうか。

そこで協会役員とチーム代表、審判をしてくれる人たちで話し合い、「審判にクレームを言わない雰囲気をつくろう」ということになりました。そのために次のことを進めたいと思います。

- ・ チーム代表から、この資料をメンバーに送ってもらい、呼びかけてもらう。
- ・ 試合中、どうしても審判に聞きたいことがある場合は、キャプテンを通して聞く。
- ・ 審判は、クレームに対して積極的にイエローカード（1回目）レッドカード（2回目）を出し、ファール累積表に記録を残す。
- ・ ファール累積表を見て、クレームの多いチームの代表には、審判部長から連絡を取り、事情を聞く。改善が見られない場合は理事会にかける。

みなさんの協力なくして、これらのことを進めることはできません。ぜひ「審判にクレームを言わない雰囲気」を促進して、さらにサッカーを楽しめるようにしましょう。